

# 三菱自動車ふそう労連 最適循環運動の取り組みについて

2018年4月9日（月）

自動車総連 第2回WIN - WIN最適循環セミナー

# Contents

I

最適循環運動の取り組みにあたり

II

具体的取り組み

III

今後の取り組み

# 最適循環運動の取り組みにあたり

自動車総連 2016年総合生活改善の取り組み “付加価値”の

## WIN-WIN 最適循環運動!

—自動車産業全体の底上げをめざして—

**現状**

- 国内市場の縮小 国内生産の減少
- グループを越えた取引拡大 グローバル競争の激化
- デフレ脱却に向けた正念場 トリクルダウンの限界

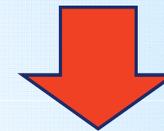
**課題**

- 企業収益のバラつき 二極化 (企業規模の大小、業種の違い、海外展開できる・できない)
- 労働条件の格差拡大
- 人材不足 (業種による深刻さの違い、働く魅力の充実)

裾野の広い自動車産業の基盤を支えている中堅・中小企業の底上げがなされてこそ、  
真の意味で経済や産業の持続的な発展が可能となる!  
そのためには、「労働条件の改善」と「現場力の底上げ」の両面からの取り組みが必要

自動車産業の競争力を、企業規模の大小に関わらず職場段階から高め、  
付加価値を産業のバリュー

自動車総連における  
「WIN-WIN最適循環運動」がスタート



なんとなくイメージはできるけど・・・



労連として何をすれば・・・

## WIN-WIN 最適循環運動のめざす姿

**「最適循環運動」とは**

活動のポイント(3本柱)

- ①付加価値の最大化  
→各職場が生み出す付加価値を最大化する努力を積み重ねる
- ②付加価値の適正評価  
→取引相手が生み出した付加価値を適正に評価することを大切にする
- ③能力強化による健全な改善  
→企業間・業種間での協力を強化し、健全な改善を推し進めていく

左記の3本柱を切り口にして、付加価値を自動車産業のバリューチェーンに循環させる運動 (運動の期間:2016-2018年の3年間)

**バリューチェーン (付加価値の連鎖)**

- 一般 (リース、買取販売)
- 輸送
- 販売
- 組合員・家族の幸せ
- お客様の満足
- 経済・社会の発展
- 産業界の繁栄
- メーカー
- 車体部品

**現場力の底上げ**  
自らの能力の向上による生産性や品質・サービス向上、稼働率向上、新たなチャレンジ・活動に取り組む仲間への支援など

自動車総連に属する一人ひとりが、自ら何ができるかを  
考え取り組み、社会的なうねりをつくり出していく

自動車産業全体の総合力向上と、安定した質の高い雇用の創出に向けて、前に進もう!

2016年1月4日発行 | 自動車総連 | 東京都港区高輪4-18-21 View wdf Square (ビコービル) スクエア | 2

そもそも総連のWIN-WINって三菱  
として何をすれば・・・。



①産業内の適正取引促進

- ・ 適正取引ガイドラインの労使での共有
- ・ 下請法の労使共有
- ・ 適正運賃収受に向けた取り組み . etc

②生産性・付加価値の向上

- ・ 好事例の集約展開
- ・ 商習慣の改善
- ・ 繁閑差の解消 . etc

③人材確保に向けた産業の魅力向上

- ・ 部品製造の魅力向上
- ・ 販売会社の魅力向上
- ・ ドライバーの魅力向上 . etc

④地域における協力強化

- ・ モータープールの共有
- ・ 育児、介護と仕事の両立支援

## 他労連の事務局長からも同様の意見が・・・。

ひ

総連の宿題WIN - WINは労連として何を取り組めますか？悩んでいます！

独自テーマで前進感が得られる取り組みがいいよね！

ひ

現状の課題も含めて解決のヒントにつながりWIN - WINの関係が構築できるようなことはないですか？

だ

部品納入にしても車両運搬にしても物流には課題が多く何かできないですか？

ほ

ちょっと関係しそうな労連に声をかけてみます。

ひ

集まって議論してみませんか？

よろしくお願いします。

WIN-WINの関係が築きあげられるものはないか！



# Contents

I

最適循環運動の取り組みにあたり

II

具体的な取り組み

III

今後の取り組み

問題を共有した労連にて分科会を設置（問題意識の共有）  
部品労連・全いすゞ労連・日野労連・三菱自動車ふそう労連

WIN-WINな関係構築には課題解決の  
一助となる必要がある

### 第1回最適循環運動分科会（2017年1月30日）

- ・ 課題の共有と取り組みの方向性の確認

### 第2回最適循環運動分科会（2017年2月15日）

- ・ 各部門や経営者に対する議論状況の共有
- ・ 4 労連にて共通の取り組みをおこなうことを確認
- ・ 特に共有すべき課題として社会的にも問題視されている物流に着目

### 第3回最適循環運動分科会（2017年3月 2日）

- ・ 4 労連にて統一テーマを設定
- ・ 物流に対する意見交換

毎回議事録を作成し、労連内でも共有

# 第3回最適循環運動分科会（2017年3月 2日）

・ 4 労連にて統一テーマを設定

## 社会情勢からも物流に対する取り組みを重点に！

国内貨物輸送の91.3%はトラック輸送



物流改善には荷主・荷受の理解が不可欠



★大型車メーカーにとって重要な業界



物流の課題を共有することが重要

★物流業界だけでは解決できない課題が山積



手待ち時間（荷受け・荷降ろし）、荷役作業の改善には部品企業とメーカーの理解が不可欠

共有し取り組むことがWIN-WIN

1運行の平均拘束時間とその内訳（手待ち時間の有無別）

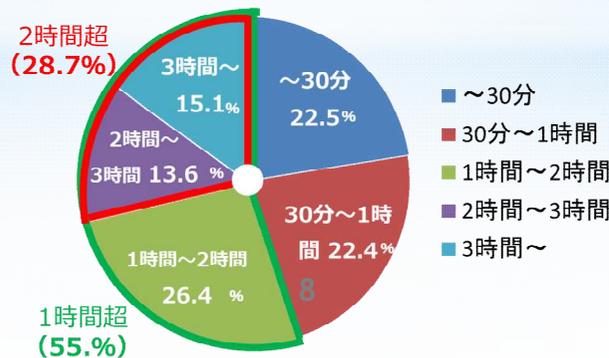
手待ち時間がある運行（46%）



手待ち時間がない運行（54%）



1運行あたりの手待ち時間の分布



## 具体的な取り組み

### 《基本的考え方》

自動車総連の取り組みに準拠し、さらに労連として取り組み意義を感じられるか？



## 社会的な問題を含めた取り組み3本柱の推進

### ①産業の適正取引に向けた取り組み（要請と確認を中心とした活動）

- ・ 自動車産業適正ガイドラインの加盟組合に対する理解活動及び労使の共有
- ・ 下請支払代金遅延防止法の徹底申し入れ
- ・ 支払いサイトの適正化要請
- ・ 部工会におけるガイドラインの加盟組合に対する理解活動及び労使の共有

### ②物流業界活性化に向けた取り組み（社会的問題に対する取り組み）

- ・ 拘束時間削減に向けた取り組みサポート
- ・ 優良企業（Gマーク）への優先発注と自社のGマーク取得状況
- ・ 下請・荷主適正取引推進ガイドラインの労使共有

### ③人材確保に向けた取り組み（自動車産業の課題に対する取り組み）

- ・ 部門別（車体部品・販売・物流・一般）の魅力向上に向けた取り組み

4労連にて統一の独自テーマを設定

≪ 3本柱の推進 ≫  
 ☆ 下請法・自動車産業適正取引ガイドライン  
 ☆ 下請・荷主適正取引推進ガイドライン  
 車体部品・販売・物流・メーカーがそれぞれ取り組みを推進  
 ☆ 各部門の会議にて魅力ある働き方について議論  
 ☆ 物流の諸問題について意見交換

労組への理解促進  
労使にて共有

理念	対象部門	取り組み主体
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●●●● 優良企業（Gマーク）への優先的な発注要請 自社のGマーク実態把握 ●●</li> <li>●●●● トラック運送業における下請・荷主適正取引推進 ガイドラインの労使による認識確認 ●●</li> </ul>
C 人材確保に向けたグループの魅力向上	1 自動車部品製造業 採用数増・離職率の低下に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車部品製造業の魅力向上に向けた職場の課題整理と対策案の検討</li> <li>● 自動車産業の人財を含めたダイバーシティ</li> </ul>
	2 自動車部品製造業 採用数増・離職率の低下に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車産業で働くすべての人が、魅力ある働き方が出来るように課題の整理を中心におこなうとともに、対策案について議論し今後の対応に向け検討をおこなう。</li> </ul>
	3 ドライバーの魅力向上 離職率の低下に向け、輸送部門の魅力向上を図ることで人材確保につなげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長年勤続したドライバーへの優遇策の検討</li> <li>● Gマーク取得に向けた実態調査</li> </ul>
	3 自動車産業関連企業の魅力向上 採用数増・離職率の低下に向け、自動車産業関連企業の魅力向上を図ることで人材確保につなげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車産業関連企業の魅力向上に向けた職場の課題整理と対策案の検討</li> <li>● 働き方改革に向けた異業種の好事例の共有 ●●</li> </ul>

更に取り組み意義を感じられる取り組みはないか？